

# 多様な価値観を持つ国関生と学ぶ楽しさ

国際関係学部1期生(3回生)の学び

## 国際関係学部を 選んだきっかけ

海外渡航経験もなく、2次情報として得る世界の諸問題に大きな関心を持っていたからです。ニュースでは聞くけど何もアプローチすることができない、方法もわからない。そんなもどかしい気持ちを解決してくれそうだったのが京都産業大学の国際関係学部でした。当初は国際問題（主に貧困）の解決策は国際援助のみであると考えていましたが、国際関係学部の授業でビジネスを用いた解決法など、様々なアプローチ法があることを学ぶことができました。現在も自分の根底にある「世界をより良くしたい」という気持ちは変わりません。

## 大学生活について

### ○雰囲気

国際関係学部は小さな世界のようなです。(笑) 国際関係学部はいろんな価値観や性格、バックグラウンドを持つ人の集合体です。おかげさまで、毎日のように新しい気づきを得ることができます。先生は驚くほどにフレンドリーで、勉強熱心な学生も多く、先生や友達が私のやる気の源泉です！

### ○勉強、バイトサークルの両立はできる？

他学部に比べて課題が多いイメージはありますが、出来ます。私は1年生の頃にバイトを入れすぎて体調を崩した経験があるので出来る範囲でバイトサークルを楽しんでください！(笑)

### ○高校のうちからしておいた方がよいこと

大学生活の目標、やりたいことを明確にしておくことです。高校時代に比べて自由な時間が本当に増えるので、ダラダラと過ごすのはもったいない！「目標・やりたいことリスト」を作っておくと良いかもしれません！

## 海外Field Research

### 研修先：ニュージーランド (オークランド)

オークランド大学では主にマオリの文化について学びました。オークランド市内にある博物館や中学校を訪問し、伝統的な「ハカ」や歴史的な像などを鑑賞しました。他にも、日本とニュージーランドの食やスポーツ文化など幅広い価値観の違いを肌で感じる事が出来ました。



## ゼミの研究テーマ

### 「日本企業の海外ビジネス動向」 (植原ゼミ)

### ○活動

- ・国際ビジネスニュースのデータベース作成
- ・輪読
- ・学校内外部のゲストスピーカーによる講演
- ・外国の日本大使館訪問
- ・企業訪問

### ○得た学び

グローバル化が進行する世界ですが、各国間には未だ大きな違いが存在しています。その違いを理解することが多国籍にビジネスを行う上で非常に大切な要素になってきます。